平成21年度 支笏洞爺ニセコルート活動報告

- 1. ルート運営活動計画の進捗状況 2. 活動団体の活動状況及び課題 3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題 4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題 5. 平成20年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート 報告者: 支笏洞爺ニセコルート代表 阿野 裕紀緒 報告年月: 2010/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
		エリマ ク・コ・オーション・フェナの枠割	1	ルックルック調査隊	えにわ シーニックプロジェクト	平成21年度	_	休止中	
	来訪者をもてなすウェルカムルートの創出	エリアインフォメーションシステムの検討	2	道と川の駅「花ロードえにわ」パネル展示	えにわ シーニックプロジェクト	平成19年度			一おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る 花植え活動などを行い、地域住民や行政組織など と連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組ん
	不助日としてなり フェルバムバー マン高田	エリアマップの作成	3	ウエルカム北海道エリ ア裏街道53次	えにわシーニックプロ ジェクト 社団法人 千歳青年会 議所 支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成19年度	10名		一だ。今後は、現在の活動を継続し、エリアの特徴を活かして様々な切り口からエリア景観の向上を目指していく。
		眺望ポイントの調査	4	ヒャクノメグミプロジェク ト	支笏洞爺ニセコルート 代表者会議	平成21年度	_		
		神仙沼周辺の沿道の清掃活動	5	共和町神仙沼周辺 パノラマラインの清掃活動	共和町商工会青年部	平成21年6月26日、 平成21年9月30日	[6月]8名 [9月]8名		→ → - - - - - - - - - - - - - - - - - -
	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる		6	綺羅街道沿道植栽	NPO法人ニセコまちづく りフォーラムほか	平成21年6月(2回)	120名		まな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、サポートメンバーも徐々に増えている。羊蹄山麓広域景観推進協議
		花と緑の植栽	7	フラワーロードユリ植え	村づくり研究会	平成21年6月7日	100名		会にて景観づくりに関する検討を継続している。また、京極町においては、羊蹄山のすそ野に広がる畑地帯がおりなす四季の農村景観と羊蹄山から
			8	花いっぱい運動	留寿都村観光協会、る すつWAO他	平成21年6月2日、 平成21年6月13日	120名		□の湧水を活用した地域づくりが評価され「日本で最も美しい村」連合に加盟するなど、新たな動きも見せている。
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	廃屋の撤去	9	羊蹄山麓広域景観づく りと協働で検討	エリア全体	継続検討中	_		
景観づくり	四学がベの衣帽を見せる中國京観を休主する	フォトコンテスト	10	Scenic Night 2010携帯 フォトコンテスト	シーニックナイト2010実 行委員会	平成22年1月29日 ~3月3日	15作品		
		くだもの村の統一看板の設置	11	実施済み	_	_	_		
		馬の歩く道景観づくり	12	ホーストレッキング	大滝レンジャーズ	平成21年度	-		ーシーニックバイウェイ北海道洞爺湖エリアにおいて は、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの
		花和地区の花壇整備	13	実施せず	洞爺湖温泉観光協会	_			──検討が進められており、景観美化活動として植栽 ┃
	果樹園などの田園景観を整える	よごさん(453)キャンペーンの実施	14	よごさん(453)キャンペーンと洞爺湖有珠山 ジオパークを知るフットパスを巡るモデルツアー	2009よごさん(453) キャンペーン実行委員 会	平成21年9月5日	120名	S T 1	一や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会や洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した」活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働
		花による沿道の演出	15	沿道美化活動	そうべつくだもの村 NPO法人そうべつ観光 協会他	平成21年度	30名		きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。
		みどりのマイルストーン(道標)の整備	16	* 植栽・清掃活動が主な活動となり、道標についての取り組みは行われなかった。	えにわシーニックプロジェクト				おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成		17	恵庭岳公園線植えるカ ム花ロード	えにわ シーニックプロジェクト	平成21年5月31日	70名		一花植え活動などを行い、地域住民や行政組織など と連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組ん だ。特に小学生との沿道における花植え活動で
7		ウエルカムゲートの整備促進	18	ここからはじまる北海道 千歳ウェルカム花ロー ドver.7	· 社団法人 千歳青年会議所	平成21年6月3日	約500名		一は、植栽作業だけではなく、次年度につながる管理作業も実施できた。今後は、現在の活動を継続し、エリアの特徴を活かして様々な切り口からエリア景観の向上を目指していく。
		花とみどり(紅葉する樹木)の植栽	19	恵庭秋めぐり紅葉バス ツアーによる植樹体験	えにわ シーニックプロジェクト	平成21年10月10日	45名		

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
		河川周辺の清掃や管理	20	尻別川周辺清掃(草刈 等)	京極町景観を考える会	平成21年4月~10月 (※毎月1~2回程度)	<u></u>	XIII	景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、サポートメンバーも
	 尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	河川景観の保全と河畔林の創出	21	尻別川クリーン作戦	NPO法人しりべつリ バーネット、蘭越町	平成21年6月20日	300名		徐々に増えている。羊蹄山麓広域景観推進協議 会にて景観づくりに関する検討を継続している。また、京極町においては、羊蹄山のすそ野に広がる 畑地帯がおりなす四季の農村景観と羊蹄山から
		散策路・フットパスの整備	22	『初夏のフットパス・ ウォークin蘭越』	NPO法人しりべつリ バーネット	平成21年6月14日	32名		の湧水を活用した地域づくりが評価され「日本で最も美しい村」連合に加盟するなど、新たな動きも見せている。
			23	羊蹄山麓広域景観づく りにて検討	羊蹄山麓広域景観づく り推進協議会	継続検討中			「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」にて4つの 検討部会を中心にそれぞれの情報共有・情報交 換等が行われている。
	エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去		24	※恵庭市で計画中の景 観計画事業に参加	えにわシーニックプロ ジェクト	平成18年度	_		おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る 花植え活動などを行い、地域住民や行政組織など と連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組ん だ。特に小学生との沿道における花植え活動で は、植栽作業だけではなく、次年度につながる管 理作業も実施できた。今後は、現在の活動を継続 し、エリアの特徴を活かして様々な切り口からエリ ア景観の向上を目指していく。
			25	「洞爺湖エリア景観マスタープラン」の作成に向けた検討	・洞爺湖エリア代表者会 議	継続検討中	_		シーニックバイウェイ北海道洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。また洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会や洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会をと関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。
景観づくり		眺望ポイントの調査研究	26	実施せず	洞爺湖エリア代表者会 議	_	_		
	洞爺湖に彩を添える	サクラの植栽 洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理	27	「MOVE 洞爺湖 2009」	洞爺湖温泉観光協会 洞爺湖町 ほか	平成21年4月29日	300名		- - - - - - - - - - - - - - - - - - -
		花と緑(紅葉する樹木)の植栽	28	『サミット記念の森の集 い(植樹活動)』	北海道、 洞爺湖町	平成21年6月13日	100名		は、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの 検討が進められており、景観美化活動として植栽 や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われて
		洞爺湖温泉の花・プランタ一整備	29	洞爺湖畔のボーダー花 壇整備	洞爺湖温泉観光協会 ほか	平成21年6月29日	20名		いる。また洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会や洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会等と関連して行政機関との連携体制も構築されている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した
	温泉街らしさを演出する		30	スタンプラリー・洞爺湖 温泉手湯物語 Ⅱ	洞爺湖温泉観光協会	継続実施中	_		る。ってはは極続に同けて行性には破疾体では用した 活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能のさらなる強化等が必要である。
		湯煙のあるまちづくりの推進 	31	洞爺湖温泉薬師の日 湯かたまつり	洞爺湖温泉観光協会 ゆったリズム体験倶楽 部 ほか	平成21年8月8日	500名		
		温泉街のサインの統一	32	実施済み	_	_	_		1
		支笏湖の湖面利用に関する規制	33	支笏湖の湖面利用に関 する規制の検討	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成19年度			
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくり の促進	水辺の眺望ポイントの整理	3	ウエルカム北海道エリア裏街道53次で水辺を巡るルート設定を検討	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会 議所 支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成19年度			おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る 花植え活動などを行い、地域住民や行政組織など と連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組ん だ。特に小学生との沿道における花植え活動で は、植栽作業だけではなく、次年度につながる管 理作業も実施できた。今後は、現在の活動を継続
		河川や湖面、沿道の清掃	34	453(ヨゴサン)530(ゴミセ゚ ロ) キャンペーンin支笏 湖	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成21年5月30日、 平成21年10月2日	60名 70名		- 性下来も実施できた。 っぱは、現在の活動を極続し、エリアの特徴を活かして様々な切り口からエリア景観の向上を目指していく。
		(*清掃活動の推進) 	35	えにわ湖慈しみフェスタ へ協力団体として参画	えにわ シーニックプロジェクト	平成21年7月25日	全体 260名		

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
		ショートフィルム映画祭、絵画教室の開催	36	実施せず	_	_	_	X-11H J	
	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	音楽コンサートの開催	37	くっちゃん雪トピアフェス ティバル2010	会 他	平成22年2月20日	400名		環境教育プロジェクトとして、小学生が参加した廃 環境教育プロジェクトとして、小学生が参加した廃 油を活用したキャンドル作りなど、新しい取り組み も展開している。後継者や人材の不足や地域内へ の活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などと
		地域資源の発掘・活用	38	油や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」	NPO法人WAOニセコギ 蹄再発見の会、倶知安 町立東小学校3年生 他	平成22年2月9日	40名	S N 1	いった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要である。
		支笏湖タウンマップの作成	39	支笏湖周辺マップ(グリーンマップ、地域情報マップ)	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成19年度			」地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの
		旧ユースホステルの保全・活用	40			平成19年度			周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の発
	地域資源の発掘と保全活用	タウンウォッチングなどによる地域資源の発掘	3	裏街道53次	えにわシーニックプロ ジェクト 社団法人 千歳青年会 議所 支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成21年度			- 掘やその有効活用についての検討を深めている。 今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)と の交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源 の活用方法やその仕組みを具体化していく。
		エリアの資源の研究会の開催	41	実施せず	洞爺湖エリア代表者会 議	_	_		「世界ジオパーク」認定や有珠山噴火10年を記念する各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。活動の継続に向けては、地域の方々が行政機関も含めて
	エリアの資源の発掘と保全活用	此是沒压力	4	ヒャクノメグミプロジェク ト(継続検討中)	支笏洞爺ニセコルート 代表者会議	平成21年度	_		-「語り合う場」がこれまで以上に必要である。後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要。
		地域資源マップの作成	42	「洞爺湖周辺ガイドマッ プ」の作成	洞爺湖温泉観光協会	平成21年度	_		環境教育プロジェクトとして、小学生が参加した廃油を活 - 用したキャンドル作りなど、新しい取り組みも展開してい
地域づくり	地域コミュニティを大切にした地域づくりの推進	地域の人々と連携した活動の推進	43	各自治体での清掃活動	コニセコ羊蹄エリア全域	平成21年度	延べ500名程 度 (各50~70 名)		る。後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、 運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられて おり、今後のさらなる検討が必要である。
		地域ブランド化の検討	44		社団法人恵庭観光協 会発行(えにわシーニッ クプロジェクト企画)	平成21年度 (春季)	_		
			45	支笏湖のヒメマスの活用	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成18年度			- 地域の触れせんまながるパスパスツス・カエリスの
		手づくり品・オリジナルポストカードの制作	46	商品製作					地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの 周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の発
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出 出		19	恵庭の秋めぐり紅葉バ スツアー	えにわシーニックプロ ジェクト	平成21年10月10日	45名		- 掘やその有効活用についての検討を深めている。 今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)と の交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源 の活用方法やその仕組みを具体化していく。
		コミュニティビジネス研究	47	支笏湖シーニックシャト ルバス	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成17~19年度 8~10月			
			48	恵庭の花めぐりガーデ ンバスツアー	えにわ シーニックプロジェクト	平成21年7月11日	45名	S W 1	
	地域の人材の育成と活用	タウンミーティング・研修会の開催	49	木村秋則さん講演会 「土づくりはひとづくり」	NPO法人しりべつリ バーネット	平成22年1月16日	300名		環境教育プロジェクトとして、小学生が参加した廃油を活用したキャンドル作りなど、新しい取り組みも展開している。後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要である。
			50	「アイルDEトークナイト」におけるSBW活動 紹介	えにわ シーニックプロジェクト	平成21年6月20日	30名		地域の人々を対象とした、トーク及び地域FM公開録音を実施。シーニックの魅力や活動の様子を紹介した。今後も様々な機会を通じて、PRを図っていく。
		地元の学校と連携した活動の推進	51	地元の学校と連携した 活動の推進	ゆったリズム体験倶楽 部、NPO法人そうべつ 観光協会	平成21年度	_		- 「世界ジオパーク」認定や有珠山噴火10年を記念
	エリアの人材育成	エリア人材登録制度の検討	52	洞爺湖有珠火山マイス ター養成講座の実施	洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会、胆振支庁	平成21年度	24名		する各種イベントなど様々な取り組みが展開され ている。活動の継続に向けては、地域の方々が行 政機関も含めて「語り合う場」がこれまで以上に必
		タウンミーティング・シーニック塾の開催	53	「洞爺湖有珠山ジオ パーク加盟認定記念 4市町記念フォーラム」 の開催	洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会・胆振支庁	平成21年10月18日 (壮瞥町) 平成21年10月30日 (伊達市) 平成21年12月12日 (豊浦町)	各100名		- 要である。後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要。

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
		子ども・住民向け文化事業の推進・活動参加のし くみづくり	54	えにわシーニックナイト	えにわ シーニックプロジェクト	平成22年2月20日	3000人		
		各研修会などの開催	55	支笏湖だいがく塾	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成19年6月11日			
	交流と連携による地域づくりの推進	タウンミーティングの開催	56	各種会議等の開催	えにわシーニックプロ ジェクト 社団法人 千歳青年会 議所 支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成18年度			地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの 周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の発 掘やその有効活用についての検討を深めている。 今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)と の交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源
		Co2削減	47	支笏湖シーニックシャト ルバス	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成17~19年度 8~10月			の活用方法やその仕組みを具体化していく。
地域づくり		自然環境学習・教育プログラム	18	ここからはじまる北海道 千歳ウェルカム花ロー ドver.5	社団法人 千歳青年会議所	平成19年度 春の植栽:5月25日 秋の彩り:9月20日 ~22日 花苗の越冬チャレン ジ 11月30日			
		コミュニティビジネスの研究	14	よごさん(453)キャン ペーンでの試行的実施	2009よごさん(453) キャンペーン実行委員 会	平成21年9月5日	35名		
Ι	エリアの産業の活性化	地産地消の推進	57	洞爺湖エリアにおける 『胆振の国(いぶりのく に)』食ブランド化プロ ジェクト 「シーニックドレッシン グ」の企画・開発	ゆったリズム体験倶楽 部他	平成21年度	_		「世界ジオパーク」認定や有珠山噴火10年を記念する各種イベントなど様々な取り組みが展開されている。活動の継続に向けては、地域の方々が行政機関も含めて「語り合う場」がこれまで以上に必要である。後継者や人材の不足や地域内への活
		保養型温泉観光の推進	58	健康保養型観光の推 進	洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会 そうべつ観光協会 他	平成21年度	_		動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった 課題もあげられており、今後のさらなる検討が必 要。
		体験型農業の推進	59	壮瞥町移住体験ツアー 募集事業	そうべつくだもの村 NPO法人そうべつ観光 協会 胆振支庁	平成21年度	-		
		今/典 充幅) の 江田 しき 川 コ 7,	60	アンテナショップ「くっ ちゃんマルシェゆきだる ま」の開設	NPO法人WAOニセコ羊 蹄再発見の会、倶知安 町 他	平成21年7月27日 OPEN(通年営業)	_	S N 2	倶知安町にアンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」が開設し、地域住民と来訪者の交流の場、地場産品の販売の場としての展開が期待され
	農産物など地場産品を活用した魅力づくり 	食(農産物)の活用と売り込み	61	「いなかのおもいやり (缶詰)」の販売	NPO法人きもべつWAO	継続展開中	_		る。今後は適切なニーズの把握やそれに応じた販 売経路の確保等についての検討が必要である。
観光振興		ファームイン・体験農園との連携の検討	62	地域資源の発掘を手が かりに検討	えにわシーニックプロ ジェクト 社団法人 千歳青年会 議所 支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成19年度			エリアの魅力が感じられる観光地を巡るバスツアーや、特産品をテーマとした広域イベントなどにより、地域の魅力をPRすることができた。今後は、
	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり	食をテーマにした特産品の開発・地域連携の推 進	63	J8公式カクテル(申請中)を企画	社団法人 千歳青年会 議所	平成20年 2月10日(日)	300名		地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、エリアとしての新たな観光メニューの創出に向けた取り組みや、それらの情報を効果的
		エリマへ类もの海性にト2柱ナベバリ	19	恵庭の秋めぐり紅葉バ スツアー	えにわ シーニックプロジェクト	平成21年10月10日	45名		に発信していく仕組みづくりなどについて検討していく。
		エリア企業との連携による魅力づくり	54	えにわシーニックナイト	えにわ シーニックプロジェクト	平成22年2月20日	3000人		

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
		ホームページで情報発信	64	シーニックナイト2010サ イトの開設	シーニックナイト2010実 行委員会 他	平成21年12月開設	_		紙媒体の情報媒体は比較的充実しており、ホーム
	エリアのきめ細かな情報の発信	ニセコをPRする冊子(英語・中国語)の作成	65	ニセコ ガイドブック「3W NISEKO」発行	国際の会	平成22年1月発行	7,000部		ページ等のweb情報媒体はしりべしiネットとの相互 利用による効果が期待されるため、情報共有や役 割分担等連携に向けた検討が必要。
		エリアのホームページの作成	66	実施せず	_	_			
		観光コミュニティバスの実験運行	19	恵庭の秋めぐり紅葉バ スツアー	えにわ シーニックプロジェクト	平成21年10月10日	45名		
		1000000000000000000000000000000000000	47	支笏湖シーニックシャト ルバス	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成17~19年度 8~10月			
		ホームページの作成	67	ウェルカム北海道エリア ホームページでのイベント紹介及び活動報告	エリア代表者会議 えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会 議所 支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	未更新	_		_エリアの魅力が感じられる観光地を巡るバスツ
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	エリアの周遊の検討	3	ウエルカム北海道エリ ア裏街道53次	えにわシーニックプロ ジェクト 社団法人 千歳青年会 議所 支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成18年度			アーや、特産品をテーマとした広域イベントなどにより、地域の魅力をPRすることができた。今後は、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、エリアとしての新たな観光メニューの創出に向けた取り組みや、それらの情報を効果的に発信していく仕組みづくりなどについて検討していく。
		工 7 7 0 7 同	19	恵庭秋めぐり紅葉バス ツアー	えにわ シーニックプロジェクト	平成21年10月10日	45名		
			47	支笏湖シーニックシャトルバス	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成17~19年度 8~10月			
観光振興		トレジャーハント等の実施	68	ドライブマップ2007に、 地域のクイズを提供	えにわシーニックプロ ジェクト 社団法人 千歳青年会 議所 支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成18年度			
		マップ・パンフレットの作成	42	「洞爺湖周辺ガイドマップ」の作成	洞爺湖温泉観光協会	平成21年度	_		洞爺湖周辺エコミュージアム構想に加え、2009年8 月、洞爺湖有珠山ジオパークは、糸魚川ジオパー
	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	物産展の開催	69	第33回そうべつりんご 祭りの開催	そうべつくだもの村 NPO法人そうべつ観光 協会	平成21年10月11日	2,000名		マ、島原半島ジオパークとともに日本で初めて「世界ジオパーク」として登録された。今後は「洞爺湖周辺地域エコミュージアム」「洞爺湖有珠山ジオパーク」が有する洞爺カルデラや有珠山などに代表される地質遺産や、雄大で美しい自然遺産、さ
		ホームページやエリアマップなどでの情報発信	70	各種メディアによる情報発信	ゆったリズム体験倶楽 部 大滝レンジャーズ他	継続中	_		らに縄文遺跡などの歴史遺産などを積極的に活用した地域振興・観光振興、人材育成等が期待される。
		地域の歴史など基づいたツアーの開催	71	実施せず	_	_	_		
		地域の歴史・文化を伝える語りべの会の開催	72	国際交流セミナー	NPO法人WAOニセコ羊 蹄再発見の会、北海道 中小企業家同友会しり ベレ小樽支部山麓地区 会 他	平成21年4月21日	114名		
	#htt Lのこれちいナー加口 1 年 2 4 の # **		73	エキノコックス公開講座	NPO法人WAOニセコ羊 蹄再発見の会 他	継続中			ー 来訪者や地域ニーズに応じた取り組み(「くっちゃ 」んマルシェゆきだるま」、「ニセコ湯めぐりパス」、
	地域とのふれあいを大切にした観光の推進	ふれあいのある体験ツアーの企画開催	74	ニセコ湯めぐりパス	ニセコリゾート観光協会	継続展開中	_		「シーニックデッキ」、「ニセコフェスティバル」等)が 行われ、リピーターも多く、高い評価を得ている。
		シーニックバスの運行	75	実施せず	_	_	_		
		シーニックデッキ・カフェの設置	76	シーニックカフェ「しろくまカフェ」 シーニックデッキ「北四線」「小川原脩記念美術館」「くっちゃんマルシェ」	ニセコ羊蹄エリア代表 者会議認定	平成21年度	_		

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
		フォトコンテストの開催	77	実施せず(検討中)	洞爺湖温泉観光協会	平成21年度			
		エコミュージアムガイドブックの発行	78	ホームページ等による Web情報媒体を活用した情報提供	洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会 他	平成21年度	-		
		エコミュージアムツアーの企画	79	ジオパーク認定 記念ジ オツアー 洞爺湖中島散策会	NPO法人 そうべつエコ ミュージアム友の会	平成21年10月24日	25名		
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成		80	昭和新山登山学習会	そうべつエコミュージア ム友の会	平成20年5月10日	50名		おっぱい カーラ
		ターゲットを絞った散策・体験ツアーの企画運営	81	ジオパーク認定・NPO 認証 記念ジオツアー 昭和新山登山会	NPO法人 そうべつエコ ミュージアム友の会	平成21年10月3日	31名		らに縄文遺跡などの歴史遺産などを積極的に活用した地域振興・観光振興、人材育成等が期待される。
			82	「冬のオロフレ峠」雪上 体験ツアー	そうべつエコミュージア ム友の会	平成21年3月22日	20名		
		エリア人材バンクの設立	83	継続検討中	洞爺湖エリア代表者会 議	平成21年度	_		
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	84	サンセットコンサート・ク リスマスイベントの開催	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	サンセットコンサート 平成19年7月28日 クリスマスイベント 12月	各200名		
			54	えにわシーニックナイト	えにわ シーニックプロジェクト	平成22年2月20日	3000人		エリアの魅力が感じられる観光地を巡るバスツ
観光振興		ルートを対象としたイベント・ツアーの企画・実施 (シーニックナイト〜灯りで繋ぐ雪の道〜)	85	支笏湖 雪あかりの散 歩道	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成22年2月6日・7日			アーや、特産品をテーマとした広域イベントなどにより、地域の魅力をPRすることができた。今後は、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、エリアとしての新たな観光メニューの創出に向けた取り組みや、それらの情報を効果的
机儿似央	エリア連携によるふれあい観光の推進	ルートを対象としたツアー等の企画・実施	86	連携による取り組み	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成19年2月15日			に発信していく仕組みづくりなどについて検討して いく。
		特定テーマによるルートプロモーション活動	87	連携による取り組み	えにわシーニックプロ ジェクト 社団法人 千歳青年会 議所 支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成18年度			
	シーニックバスツアーの企画・運行		14	よごさん(453)キャンペーンと洞爺湖有珠山ジオパークを知るフットパスを巡るモデルツアー		平成21年9月5日	120名		
	エリアの資源を活用した複合ツアーの企画		88	ジオパーク認定記念 有珠山登山学習ジオツアー	NPO法人 そうべつエコ ミュージアム友の会	平成21年5月9日	20名		- 洞爺湖周辺エコミュージアム構想に加え、2009年8
	イベントの企画・運営		89	洞爺湖温泉 イルミ ネーショントンネル	(社)洞爺湖温泉観光 協会ほか	平成21年11月15日~ 平成22年2月28日	I		月、洞爺湖有珠山ジオパークは、糸魚川ジオパーク、島原半島ジオパークとともに日本で初めて「世界ジオパーク」として登録された。今後は「洞爺湖周辺地域エコミュージアム」「洞爺湖有珠山ジオ
		温泉街ガイドブックの発行	42	「洞爺湖周辺ガイドマップ」の作成	洞爺湖温泉観光協会	平成20年度	_		「パーク」が有する洞爺カルデラや有珠山などに代表される地質遺産や、雄大で美しい自然遺産、さらに縄文遺跡などの歴史遺産などを積極的に活用した地域振興・組み集制
	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	おもてなしキャンペーンの実施	90	有珠山噴火メモリアル 感謝祭	有珠山噴火メモリアル 委員会(洞爺湖温泉観 光協会)	平成22年3月27日~ 平成22年3月31日			- 用した地域振興・観光振興、人材育成等が期待される。
		シーニックデッキの設置	91	実施せず(検討中)	洞爺湖エリア代表者会 議	平成21年度	_		
	人材育成のための研修会などの開催		92	ジオパーク認定記念 フォーラム	洞爺湖有珠山ジオパー ク認定記念事業実行委 員会	平成21年11月16日	_		

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
			93	支笏洞爺ニセコルート をつなぐ「シーニックナ イト2010」	シーニックナイト2010実 行委員会 他	平成22年1月29日~ 平成22年2月27日	約7000名		広域連携の取り組みである「シーニックナイト」は参加の しやすさから、エリア内外の各地で自然発生的に開催されるようになり、地域住民や訪れた観光客の評価も高い。
ルート及びエ リア全域を 対象とした取 り組み	ルートを対象としたイベントの企画・実施(シーニッ	クナイト2010~灯りでつなぐ雪のみち~)	94	支笏洞爺ニセコルート をつなぐ「シーニックナ イト2010」	シーニックナイト2010実 行委員会 他	平成21年1月31日~ 平成22年2月28日	約600名	S N 3	ベストプロジェクト2008を受賞し、関係者のモチ ベーションがさらに増加した。また、各地での取り
			95	支笏洞爺ニセコルート をつなぐ「シーニックナ イト2010」	シーニックナイト2010実 行委員会 他	平成21年1月31日~ 平成22年2月28日	約100名	S T 3	組みが多様化するなど地域の取り組みとして着実に浸透してきている。
	エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの	の推進~シーニックの森づくりの推進~	96	エキノコックス駆除活動	NPO法人WAOニセコ羊 蹄再発見の会・倶知安 町、京極町景観を考え る会・京極町、らんこし WAO・蘭越町、NPO法 人きもべつWAO・喜茂 別町、ニセコ町 他	平成21年度	約50名		環境に配慮した取り組みとして「エキノコックス駆除活動」がエリア全域に拡大しており、今後の広域的な展開に向けた方針や方向性の再検討が必要
			97	実施せず	洞爺湖エリア代表者会議	_	_		環境に配慮した取り組みとして「シーニックの 森」構想の継続展開に向け、用地確保と維持 管理等が課題である。

支笏洞爺ニセコルート 《ウエルカム北海道エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『恵庭の花めぐりプレミアムガーデンバスツアー』

【内 容】お庭とお花が堪能できる、とてもよくばりなプレムアム・ガーデンツアーを開催。 札幌駅から地元ボランティアガイドが同行しバスで移動。えこりん村の庭園見学、 恵み野オープンガーデンの自由散策、サンガーデンの花苗生産見学等を楽しんだ。

【日 時】平成21年7月11日(土)【参加人数】45名

【場 所】JR札幌駅→えこりん村・花の牧場、銀河庭園見学・ランチ

→恵み野ガーデニング見学→道の駅花ロードえにわ→JR各駅

【主 催】(株)ノーススタートラベル【協 力】(株)えこりん村、(財)恵庭観光協会

【企 画】えにわシーニックプロジェクト















支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

よごさん(453)キャンペーンと 洞爺湖有珠山ジオパークを知るフットパスを巡るモデルツアー

【内 容】道路清掃事業「秋のよごさん(453)キャンペーン」は、ゴミ拾いをして道路景観を良くすることによって、訪れる観光客に快適なドライブを楽しんでもらうことを目的にスタート。広範囲の道路清掃活動として注目を集めています。また、この度、ユネスコの支援により設立された「世界ジオパークネットワーク」の国内第一号として「洞爺湖有珠山ジオパーク」が認定されたことを記念したフットパスを巡るモデルツアーを実施。

【日 時】平成21年9月5日(土)

【場 所】洞爺湖周辺「そうべつ情報館アイ」駐車場集合

【主 催】よごさんキャンペーン実行委員会(そうべつくだもの村他)

【参加人数】120名

















SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

洞爺湖エリアにおける『胆振の国(いぶりのくに)』 食ブランド化プロジェクト 「シーニックドレッシング」の企画・開発

【内 容】洞爺湖エリアの「食」に関係する生産者・加工者・料理人の連携・協働により、地域の新しい魅力となる食ブランド商品を開発して、地域産業の活性化と観光の振興に貢献することを目的として実施。プロの料理人とのコラボレーションによる、西胆振エリアの食材を活用した商品の開発を行い、地域住民を対象とした試食モニター調査を行った。それにより、試作品の食ブランド化に向けた評価と商品改良を行った。

【日 時】平成21年度

【主 催】ゆったリズム体験倶楽部

【協力】虻田高等学校生徒、洞爺湖料理研究会(洞爺湖温泉街のプロ料理人集団)



■虻田高校学校祭での 試食会に使用した「春雨 サラダ」



■洞爺湖温泉協会祭での試食会に使用した「野菜サラダ」※虻田高校試食会のものよりオイル量を1/2にして粒マスタードを加えている。

■第1回試食会の様子





■第2回試食会の様子





支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックナイト2010inそうべつ 壮瞥町営温泉「ゆーあいの家」

【内 容】洞爺湖エリアでの開催は今回で4回目。毎回思考を凝らした取り組みが行われており、今回はそうべつ町営温泉「ゆーあいの家」からシーニックナイト2010がスタート。 壮瞥町営温泉「ゆーあいの家」のアプローチを温かな灯りでお客様をお出迎え。中心 メンバーのそうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会、壮瞥町商工会青年部他 の方々による様々なおもてなしメニューが温泉を訪れた方々に提供された。

【日 時】平成22年1月29日(金)17:00~

【場 所】ゆーあいの家 【参加人数】約100名

【主 催】シーニックナイト2009実行委員会

【共 催】支笏洞爺ニセコルート洞爺湖エリア代表者会議









支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

教育環境プログラム 「廃油や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」

【内 容】倶知安東小学校3年生の児童を対象として、環境教育プログラムの一環として「廃油 や使用済みのろうそくを再利用したキャンドル制作」を行った。ここで制作したキャンドルはシーニックナイト2010の会場でも設置されるなど、複合的な取り組みとして展開した。

【日 時】平成22年2月9日(火)

【場 所】アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」

【主 催】NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会

【参加人数】40名(倶知安東小学校3年生ほか)











支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆきだるま」の開設

【内 容】観光客と地域住民の交流の場として、2009年7月にオープンしたアンテナショップ。 生産者が直接届ける季節の野菜や地域の銘菓等がブースに並ぶバラエティ豊富な品揃 えとなっている。

【日 時】平成21年7月27日開設(通年営業)

【場 所】倶知安町字琴平131-5

【主催】くっちゃんアンテナショップ運営推進協議会 (NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会)













支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2010」

【内 容】シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りでつな ぐ、"シーニックナイト2010"を開催し今年で5年目。ニセコ羊蹄エリアにおいて も年々会場毎に思考を凝らしたオブジェやスノーキャンドルに加え、地域イベントと の連携など幅広い取り組みとして地域内に定着してきている。

【日 時】平成22年2月6日から2月27日まで(ルートとしては1月31日から)

【場 所】支笏洞爺ニセコルート(ウェルカムエリア・洞爺湖エリア・ニセコ羊蹄エリア内) 【参加人数】約600名

【主催】シーニックナイト2010実行委員会【共催】支笏洞爺ニセコルート代表者会議

【後援】北海道開発局(札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部)















京極町三条通り商店街



倶知安「雪トピアフェスティバル 」



ニセコ駅前温泉「綺羅乃湯」

- 3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
- ・支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)

|報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 阿野 裕紀緒

報告年月:2010/3/31

活動団体

- ・NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ
- ・えにわシーニックプロジェクト
- •社団法人 千歳青年会議所

ルート運営体制(活動団体)

●エリア代表者会議の運営

(構成)エリアの各活動団体の代表者により構成

(代表)エリアの代表を1名選出し、支笏洞爺ニセコルート代表(各エリアから1名)を兼任

・エリア代表 平成21年 白石 一人 (NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ)

平成20年 泉谷 清 (えにわシーニックプロジェクト) 平成19年 佐藤 哲也 (社団法人 千歳青年会議所)

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	エリア運営 (事務局体制)	スケジュー ル調整な ど					会議の企画・運営	ナンキャンペーン(○企画・サポート						
	ルート運営代表者会議				● 6月26日 壮瞥町		● 8月26日 喜茂別町		● 10月21日 支笏湖	● 11月16日 壮瞥町		● 1月25日 ニセコ町		● 3月8日 恵庭市	
地域の運営 に関わる事 項	エリア 代表者会議					● 7月28日 (第1回エリア) 支笏湖								● 3月11日 (第2回エリア) 恵庭市	
	検討会 勉強会など		★ 4月8日 (花ロート*実行 委員会)	★ 5月21日 (花ロート・実行 委員会)	★ 6月17日 (花ロート・実行 委員会)								★ 2月18日 (花ロート* 幹事会)		

	ルート名称:支	笏洞爺ニセコルート(ウェル	レカム北海道コ	ニリア)	報告者:札	晃開発建設部					報告年月:2	010/3/31				
		基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政の運営 に関わる事・ 項														● 3月11日 千歳市	
		三開建連絡会議の 実施(札幌・小樽・室 蘭)				● 6月26日 壮瞥町										三開建連携による支援 体制の構築

|ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)|報告者:洞爺湖エリア代表 阿野 裕紀緒

報告年月:2010/03/31

活動団体

社団法人 洞爺湖温泉観光協会、ゆったリズム体験倶楽部、NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会、そうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会、大 滝レンジャーズ、そうべつエコミュージアム友の会 (以上8団体)

ルート運営体制(活動団体)

- (1)洞爺湖エリア代表者会議
 - シーニックバイウェイに参加する活動団体の連携が図りやすいように、「洞爺湖エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。
- (2) 洞爺湖エリア代表者会議の運営

【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める)

- 【エリア代表者会議の位置づけ】
 - ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。
 - ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。
 - ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。

【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表(1年交替)を兼任します。 ●洞爺湖エリア代表:阿野 裕紀緒(そうべつくだもの村)

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議			● 6/26		8/26		10/21	● 11/16		● 1/25		• 3/8	昨年度から3エ リア合同のルー ト運営代表者会
エリア代表者会議													議が定例化。 ルート内の情報 共有のほか口座 の開設や代表者 の持ち回りなど が決定し、ルート
シーニックナイト 2010実行委員会										1/25		● 3/8	内のコミュニティ メール等も新た
シーニックナイト 2010実行委員会										+	•		に作られ、ルート の連携体制が強 化されている。

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア) 報告者:室蘭開発建設部

報告年月:2010/03/31

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実 施												● 3/18	情報共有の強化、支援体制の 構築
三開建連絡会議の 実施(札幌・小樽・室 蘭)			6 /26										三開建連携による支援体制の構 築

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)

報告者:ニセコ羊蹄エリア代表 熊谷 雅幸

報告年月:2010/03/31

活動団体

共和町商工会青年部、京極町景観を考える会、国際の会、NPO法人きもべつWAO、村づくり研究会、NPO法人しりべつリバーネット、ニセコ広域観光委員会、NPO法人ニセコまちづくりフォーラム、NPO 法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、(株)ニセコリゾート観光協会、らんこしWAO、るすつWAO (以上12団体)

ルート運営体制(活動団体)

- (1)ニセコ羊蹄エリア代表者会議
- シーニックバイウェイに参加する活動団体の共通意識の醸成やお互いの活動に対する理解を図るために、「ニセコ羊蹄エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。 (2)ニセコ羊蹄エリア代表者会議の運営

【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める)

- 【エリア代表者会議の位置づけ】
 - ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。
 - ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。
 - ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。

【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表(1年交替)を兼任します。 ●ニセコ羊蹄エリア代表:熊谷 雅幸(らんこしWAO)

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議			6 /26		8 /26		10/21	11/16		● 1/25		• 3/8	昨年度から3エ リア合同のルー
エリア代表者会議											● 2/2 (第1回エリア 倶知安)		ト運営代表者会 議が定例化。 ルート内の情報 共有のほか口座 の開設や代表者
シーニックナイト 2010実行委員会										● 1/25		3 /8	の持ち回りなど が決定し、ルート 内のコミュニティ メール等も新た に作られ、ルート
シーニックナイト 2010										•	-		に作られ、ルート の連携体制が強 化されている。

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート 報告者: 小樽開発建設部 報告年月: 2010/03/31

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実 施						9 /2					● 2/23~26		情報共有の強化、支援体制の 構築
三開建連絡会議の実 施(札幌・小樽・室蘭)			6 /26										三開建連携による支援体制の構 築

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア) 報告者: 札幌開発建設部 報告年月: 2010/3/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
	東きネナナ てたさウール カノル - Lの創山	・道路情報板を活用した、「シーニックバイウェイ支笏洞爺ニセコルート」のPR	平成18年度~ 平成21年度	·札幌開発建設部、 小樽開発建設部、室 蘭開発建設部	・支笏洞爺ニセコルート内の国道において、道路情報版を活用し、「シーニック バィウェイ支笏洞爺ニセコルート」のPRを実施		1
	来訪者をもてなすウェルカムルートの創出	・第59回支笏湖湖水まつりにおけるシーニックパネル展の開催	平成20年7月5日~6 日	•札幌開発建設部	・J8サミット千歳支笏湖期間中に合わせ、支笏湖湖水まつり会場において、シーニックバイウェイ関連のパネルを展示。来場者へシーニックバイウェイ北海道のルート概要や、環境への取組の周知を図った。	2	2
		・「道道恵庭岳公園線植えるカム花ロー	平成21年5月31日	•惠庭市	・昨年に引き続き、活動団体、地域住民、千歳土木現業所と連携し、恵庭インターチェンジより市街地に向かい中央分岐帯の植樹及び、雑草除去を主催・花苗等、物資の準備、運営を行う。		3
		の主催及び協力	十成21年3月31日	·北海道札幌土木現 業所千歳出張所	・昨年に引き続き、花のじゅうたんプロジェクトとして助成。4カ年限定の事業であり、22年度に最終年を迎えることから、継続に向けた検討が必要。		4
	ル海洋こしい注こかわかかた「日色ではフカナベノ」の個件	・「えにわ湖慈しみフェスタ」 のゴミの処理及び、運営支援	平成21年7月25日	•惠庭市	・道道恵庭岳公園線(漁川ダム周辺より、国道453号との交流地点までの清掃活動及び、植栽活動において、ゴミ処理及び、運営を支援。		5
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	・「453・530(ヨゴサン・コミセロ)キャンペー		・千歳市	・ボランティア・サポートプログラムに(VSP)により、ゴミ処理を支援 ・VSP手続きの他、活動運営等をサポート ・人的支援として、清掃活動に参加		6
		ン」のゴミ処理、清掃用具の提供等	平成21年5月30日、 10月2日	•札幌開発建設部 千歳道路事務所	・ボランティア・サポートプログラムを導入、清掃用具を提供。 ・人的支援として、清掃活動に参加		7
				•支笏湖自然保護官 事務所	・人的支援として、清掃活動に参加 ・今後、環境の日や自然公園クリーンデイとの清掃活動の連携も考えられる		8
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	•「千歳ウェルカム花ロードver.7」の運営 支援	平成21年6月3日	•千歳市	・平成21年度より実行委員会の構成機関として参加。 ・受付窓口として、市内全小学校への周知、及び、一般参加者の募集等を担当。 ・小学校(教育委員会)との連携や、フラワーマスター等の関係機関との調整。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスへの植栽・草刈り を実施。	・沿道景観の整備(花植え、清掃)にかかる活動に対する行政の協力が確立してきており、良好な連携体制が築かれている。・・今後も、各行政機関連携	9
景観づくり				·札幌開発建設部 ·干歳道路事務所	・地域協働プロジェクトとして、同取り組みを実施(国道区間)。 ・H21年度より実行委員会の構成機関として事務局運営を担当。 ・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスへの植栽・草刈り を実施。 ・本活動が民間主導の運営体制となるよう、実施方法の見直しなどを図っていく。	のもと、活動団体の意向に 対する調整や支援メニュー の提案など、密な連携が望 まれる。	
					·北海道札幌土木現 業所千歳出張所	状況)	
					・企業参加及び一般参加者を増やす取組が必要。 ・昨年に引き続き、花のじゅうたんプロジェクトとして支援。4カ年限定の事業であり、22年度に最終年を迎えることから、継続に向けた検討が必要。		
		・「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」	平成17年度~ 平成19年度	•石狩森林管理署	・セブン-イレブンみどりの基金と、北海道森林管理局・石狩森林管理署が協定を結び、台風被害にあった支笏湖周辺の森林を再生するため、行政・環境市民団体・企業・地域団体などから成る「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり実行委員会」を設立。 ・市民が「森の育て親」になって100haの大地に10万本の植樹に協働して取り組む。		12
					・石狩森林管理署は、支笏湖周辺の風倒木被害地域である国有林を活動場所と して提供し、森づくりの基本的な技術指導を行う。		
	エリアの景観ルールづくり	・恵庭市において、景観形成基本計画を 策定	平成19年度~ 平成20年度				13
	- / / ジ 水 RJ/レ /レ ン \ / /	・国道36号 景観診断	平成15年~平成17 年度	・札幌開発建設部	・シーニックバイウェイの基幹ルートとして指定されている、国道36号において、 住民参加による景観診断を実施、平成17年度までに対象となっている区間につ いて実施を終えた。		14
	手振り広生物の担制の冷計	・シーニックバイウェイルートにおいて、道	平成17年度	·札幌開発建設部 ·千歳道路事務所	・国道276号丸山交差点において、視認性と景観の向上を目的とし、道路標識の集約化を試行。(3箇所)		15
	看板や広告物の規制の検討	路標識の集約を試行	平成18年度	·札幌開発建設部 ·千歳道路事務所	・国道276号及び453号において、視認性と景観の向上を目的とし、道路 標識の集約化を試行。(68箇所)		15

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり		平成19年度	・恵庭市 ・千歳市	・活動団体が主催する、近隣地域で作られている食を中心とした物産店 「輪っしょい千歳」を後援。		16
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート	平成19年度	•千歳市	・人的支援として、運営を補助		17
		・「えにわプレミアム・ガーデニングバスツ アー」	平成20年度	•惠庭市	・活動団体が主催する、ガーデン散策を楽しむバスツアーに協力。	_	18
			平成19年度~	•千歳市	・千歳市ホームページ リンク集ページ内「観光」カテゴリにおいて、シーニックバイウェイ北海道へのリンクを設置。		19
			平成19~21年度	·北海道札幌土木 現業所千歳出張所	・札幌土木現業所ホームページトップページにおいて、シーニックバイ ウェイ北海道のバナーを掲載し、活動の周知に協力。	・地域活動への支援体制と して、人的協力(活動参加・	20
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	・ホームページによる、シーニックバイウェ イ北海道及び、エリア活動のPR	平成19~21年度	•石狩支庁	・トップページにて、シーニックバイウェイ北海道のバナーを掲載。 ・石狩管内観光ガイドマップへのシーニック情報掲載(マップにエリアを記載、シーニックバイウェイ北海道のHPアドレスなどの情報を掲載)	連携協力)や、情報発信(H P・広報誌への掲載)は、継 続実施されている。また、	H <u>*</u> 21
観光振興			平成19~21年度	•札幌運輸支局	・札幌運輸支局ホームページトップページにて、シーニックバイウェイ北海 道のバナーを掲載。	で放連絡担当者会議の支ェイ北海 接の一つとして、当会議において集約された助成金 ニュー等を、都度、活動団	
			平成19~21年度	•札幌開発建設部	・H19年度より、さっけんホームページにおいてシーニックバィウエイ制度やルートに関する情報を掲載。	休へ情報担併た行ってい	23
			平成21年度	•千歳市	・ルート連携活動「シーニックナイト〜灯りが繋ぐ雪の道〜」実施のための 人的支援。		24
	ルート連携によるふれあい観光の推進	・「シーニックナイト2010〜灯りが繋ぐ雪の 道」	平成21年度	•北海道札幌土木現 業所	・札幌土木現業所ホームページにて、ルート連携活動「シーニックナイト 〜灯りが繋ぐ雪の道〜」の活動周知のための情報を掲載。		25
			平成20年度	•石狩支庁	・道庁職員専用グループウェア内にて、「シーニックナイト)灯りが繋ぐ雪の道~」の活動周知のための情報を掲載。 ・後援協力。		26
		・「シーニックナイト2010〜灯りが繋ぐ雪の 道」への後援及び活動PR ・除雪協力	平成22年1月29日~ 2月27日	·札幌開発建設部、 小樽開発建設部、室 蘭開発建設部	・ルート連携活動「シーニックナイト〜灯りが繋ぐ雪の道〜において、取り組みの「後援」及びポスター・チラシの配布など活動のPRを支援。 ・国道36号(恵庭バイパス)における除雪協力 ・職員有志が、個人サポーターとなり、取り組みを応援。		
	地域資源の発掘と保全活用	・「裏街道53次事業」地域の魅力発掘アン ケートへの協力	平成18年度	·札幌開発建設部 千歳道路事務所	・昨年に引き続き、ウエルカム北海道エリア内の地域資源発掘アンケートをホームページへ掲載、調査への協力を呼びかけるとともに、職員有志により、アンケート調査への記入協力。	・当該エリアでは地域資源 の発掘や有効活用につい てエリア単独からルート全	
地域づくり	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	・恵庭の秋めぐり紅葉バスツアーの準備協力	平成21年10月10日	•惠庭市	・ツアー利用会場の準備を協力 ・市外からの参加が多く、毎年満員の大人気のツアーとなっている。 ・活動団体のみの運営では、希望者が多くても規模の拡大は難しい	体での取組として検討を進めている。 ・更なる発展に向けて、行政界や活動団体間の垣根	29
	交流と連携による地域づくりの推進	えにわシーニックナイトの開催支援と周知協力	平成22年2月20日	•惠庭市	・えにわシーニックナイト開催情報のメール配信 ・市民活動支援制度えにわブーケトスによる支援金の交付	を越えた連携を進めること が望ましい。	

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア) 報告者: 室蘭開発建設部 報告年月: 2010/03/31

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
	洞爺湖に彩を添える	洞爺湖町「おもてなし事業」	平成21年度	洞爺湖町	洞爺湖温泉街の緑化・清掃活動を継続展開中。		1
	温泉街らしさを演出する	洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	平成21年11月15日 ~平成22年年2月28 日	洞爺湖町	洞爺湖温泉にぎわい広場(洞爺湖万世閣向かい)に延長約70mのトンネルを設置し、約30万個の電球で飾る。	当該地域では、国道よごさ んキャンペーンやVSP活動など清掃活動や花いっ ぱい活動や景観阻害看板	2
景観づくり	果樹園などの田園景観を整える	よごさん(453)キャンペーンと洞爺湖有 珠山ジオパークを知るフットパスを巡るモ デルツアーへの支援	平成21年9月5日	室蘭開発建設部、有 珠復旧事務所(VSP 等の支援、活動参 加・協力)、 室蘭土現(作業車の 提供)、洞爺湖町	持続可能な運営体制の構築に向け、参加呼びかけ等人的支援による協力体制の強化を図った。活動を継続していくことで、各機関ごとの役割分担が明確になってきておりスムーズな運営につながっている。	の調査・撤去、民間看板の 集約の他、シーニックバイ ウェイ洞爺湖エリア代表者 会議では、洞爺湖地域の 景観づくりに関する検討等 が活発に行われている。こ れら地域住民の「思い」を	3
	エリアの景観ルールづくり	 洞爺湖エリア景観づくり方針の検討 (行政連絡会議と併用開催)	平成21年度	洞爺湖エリア行政連絡会議関係機関	洞爺湖エリア代表者会議との協働によるエリア全体の景観づくりに関する検討を実施。各関係行政機関がどのような形で関わることができるか	各関係行政機関が「後押し する・繋げる」などの協働 型マネジメントの取り組み にシフトしていくことが今後	4
	看板やノボリの撤去	(打政建裕去職と併用開催)		裕云 俄	等、個別ヒアリングの実施により聞き取りも行っている。	必要であると思われる。	5
		道路標識の集約・撤去	平成21年度	室蘭開発建設部	警戒標識を固定式視線誘導柱に添加し集約することにより景観向上がはかられた。		6
地域づくり	エリアの資源の発掘と保全活用	中島周辺の清掃活動	平成21年度	環境省 洞爺湖自然 保護官事務所	国立公園や国指定鳥獣保護区において、自然や社会状況を熟知した地元住民等を雇用し、山岳地の清掃、施設補修、特定外来生物の駆除等を行うことで、国立公園管理のグレードアップを図ることを目的として中島周辺の清掃活動の他、ニホンザリガニ生息状況調査や洞爺湖内の水草の調査等を実施している。	取り組みの継続に向けた 地域活動団体と連携した 適切な維持管理体制の構	7
	エリアの人材育成	洞爺湖有珠火山マイスター制度の推進		平成20年度より「洞爺湖有珠火山マイスター制度」を推進している。現在、11名がマイスターとして認定され活動しており、次第に活動の場ががってきている。並行して実施している「洞爺湖有珠火山マイスター養展講座」も継続を予定している。		│築が必要。 広│	8
	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	道路情報板によるルート名(支笏洞爺ニセコルート)の表示	平成21年度 (継続展開)		継続して道路情報板を活用してルート名を表示したことで、地域活動団体の方々から「活動に対するモチベーションが上がった」と高評価を得ているとともに地域住民への浸透も少しずつ図られている。		9
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	「洞爺湖有珠山ジオパーク加盟認定記念 4市町記念フォーラム」の開催	平成21年10月30日	ミュージアム推進協	エコミュージアムの推進とともにジオパークの認証に必要な環境整備について考え、ジオパークを北海道の地域振興につなげるためのパネルディスカッション等も開催された。	当該管内では、「洞爺湖周 辺地域エコミュージアム推 進協議会」を中心に自治体 間や関係行政機関の連携	
観光振興	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	「オールいぶり」によるビジットジャパン キャンペーンの展開	平成21年度 (継続展開)	胆振管内観光·物産 展実行委員会 胆振支庁 商工労働 観光課	運輸局と連携して西胆振戦略協議会が中心となって、ビジットジャパンキャンペーン(以下、VJC)を展開し、観光・集客誘致に向けた取り組みを推進している。 VJCでは、海外のマスコミやエージェントに対して、また修学旅行等をターゲットとした各種PR活動を展開している。	が積極的に図られている。 行政としては行政連絡会議 や各種取り組みにおいて 参加協力及び人的支援等 による連携が図られてい る。	
	エリアの資源を活用した複合ツアーの企画	ジオパーク認定記念 有珠山登山学習ジオツアー	平成21年5月9日	壮瞥町	岡田弘先生、当会会長、「火山マイスター」とともに、有珠山を学び、楽しみながら「有珠外輪~四十三山」間(1977年噴火後、利用不可)のジオツアーコースを巡検。 参加者は、有珠山からの眺望、自然を探勝しながら、さまざまの分野を学習壮大な火山活動が創った 有珠山、洞爺湖等ジオ・エコツアーを楽しんだ。		12

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成21年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	した は		7か町村の連携による「羊	1		
景観づくり	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	町民ボランティアの集い 「まちをきれいにしよう」	平成21年5月	京極町	ゴミや空き缶を拾い集め、きれいなまちづくりを行うことを目的として、毎年5月に市街地の清掃活動を実施。	蹄山麓広域景観づくり推進協議会」での検討を中心に 各種情報共有・情報交換	2
	四字がべい衣信を兄にる山風泉観を床主する	**主 する		が継続的に行われており、地域にも浸透してきている。	3		
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	「尻別川クリーン作戦」の実施	平成21年6月20日	蘭越町 小樽開発建設部 後志支庁	シーニック活動団体である、しりべつリバーネットが主催となり、清流日本 一の尻別川の清らかな流れを守ることが流域全体の自然を大切にする 心の和を広げることを目標として、カヌー等を使って清掃。作業終了後は 地域との交流を図る交流会を実施。		4
	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	雪トピアフェスティバル2010 (実行委員会構成メンバーとして参加)	平成22年2月20日	俱知安町	町と町民有志による協賛で開催し、自衛隊も全面的に協力してくれている。運営は雪トピアフェスティバル実行委員会。事務局は倶知安町役場商工観光課。今年もシーニックナイトとも連携したイベントとしてキャンドルを介した交流を行った。また新たに姉妹都市であるサンモリッツ市の教会の雪像を自衛隊協力のもと制作し、雪上ウェディングを開催した。	広域連携の取り組みであ	5
地域づくり	地域コミュニティを大切にした地域づくりの推進	「シーニックナイト2010」への協力・参加	平成21年1月31日~ 平成22年2月28日	ニセコ羊蹄7か町村 小樽開発建設部、 小樽開発建設部俱 知安道路事務所	ニセコ羊蹄エリアにおいて活動団体が存在する自治体では、地域活動団体が主体となって企画運営を行い、行政は人的支援や広報支援によるサポートを行っている。	る「シーニックナイト」や環 境に配慮した取り組みとし て「エキノコックス駆除活 動」が各自治体にも定着し てきている。	6
	地域の人材の育成と活用	道の駅「望羊中山」における観光業務委託 (シーニックバイウェイプラザin中山峠の管理運営、各種情報発信など)	平成21年度	喜茂別町	商工会からNPO法人きもべつWAOに対して観光業務委託をしている。主な内容としては、観光全般の支援、中山峠のトイレ清掃、iセンターでの情報発信等。		7
	農産物など地場産品を活用した魅力づくり	アンテナショップ「くっちゃんマルシェゆき だるま」の開催	平成21年7月27日 OPEN(通年営業)	[主催]くっちゃんアン テナショップ運営推 進協議会	平成21年4月、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会を中心として、倶知安町青年団体協議会、ようてい農協倶知安支所、倶知安商店連合会、、倶知安観光協会、倶知安商工会議所のメンバーにより「くっちゃんアンテナショップ運営推進協議会」を設立した。コンセプトは、地元の新鮮な農産品や特産品の紹介や販売による生産者同士あるいは生産者と消費者の交流の場をメインに、観光案内などの情報発信機能、憩いの場としての機能としても活用できる、地域に根ざした多目的空間の創出である。		8
観光振興	エリアのきめ細かな情報の発信	しりべしシステム事業との連携 (HP等の媒体活用による情報受発信)	平成21年度	後志支庁、 小樽開発建設部	「しりべしシステム」では、地域だよりとして各自治体からのイベント情報等を随時提供している。また、シーニックバイニセコ羊蹄エリアのサイトリニューアルについても、お薦め景観ポイントやシーニックイベント情報等の提供を検討中。		9
	地域のとのふれあいを大切にした観光の推進	ニセコフェスティバル2009の開催	平成21年9月19日~ 10月12日	ニセコフェスティバル 実行委員会(後志支 庁、ニセコ町、倶知 安町、蘭越町他)	ニセコ本来の魅力をお知らせし『ニセコファン』を確保し、倶知安・ニセコ・ 蘭越の農・商・観光事業者が協力し、各施設からさまざまなプログラムを ご提供し、総合的な連携を強め『ニセコエリア』としてお客様をお迎えし た。 ○主催:ニセコフェスティバル実行委員会 ●後援(順不同):後志支庁・ニセコ町・倶知安町・蘭越町・ニセコ町商工 会・ニセコリゾート観光協会・倶知安観光協会・蘭越町観光協会・ニセコブ ロモーションボード・後志観光連盟		10
	★エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進	エキノコックス駆除に向けた調査等	平成21年度	俱知安町、蘭越町、 京極町、ニセコ町、 喜茂別町	ニセコ羊蹄地域が国際的な観光地へ発展するための環境整備のひとつとして、人間と野生動物が安全に共存できる状況をつくるための生態系	て予算付けがされるなど、 地域全体の取り組みとして 認知されてきた。	
その他	★シーニックバイウェイの地域内外への浸透に向けた取り組みの推 進	ルートサインの試行設置による効果検証	平成21年度 (継続実施中)	小樽開発建設部	ニセコ羊蹄エリアを訪れる旅行者および地域住民における同エリアが シーニックバイウェイのルートであることの認識度向上のため、数種類の サイン案を試行的に設置し、アンケート等による効果把握を経て、詳細な 試行設置方針を決定する。	シーニックバイウェイ北海 道の浸透については、地域 活動団体が存在する自治 体及び活動が活発な地域 については浸透している が、地域住民に対する周知 が次のステップへの課題である。	12

5. 平成21年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 阿野 裕紀緒	報告年月:2010/3/31
-------------------	-------------------------	----------------

平成20年度活動報告への助言	平成21年度 状況報告	備考
ランドの形成・活用に向け、引き続き、ルート活動の地域への浸透、改善の仕組みの強化、人材育	シーニックバイウェイ北海道の最大のメリットである広域連携という利点を生かしたなかで、各地域活動団体及び各自治体が連携した取り組みが多様化している。 一方で課題としては、各種会議の形骸化とともに昨年度に引き続き後継者及び活動を支える人材の不足、地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要である。 ●ルート活動の地域への浸透・改善の仕組み強化・支笏洞爺ニセコルートを訪れる来訪者や地域住民に対して、シーニックバイウェイ北海道の指定ルートであることを認識してもらい、長期間人々の記憶に残り愛されるようなルートのロゴマーク案の作成を目的とし、昨年度から継続検討中。来訪者・地域双方の視点で、望ましいロゴマークのあり方について時間をかけて検討が進められている。 ●ルート活動の基盤・支援体制強化・昨年度設置されたルートのメーリングリストが意見交換の場として活用され、ルート内の意見調整や情報共有が円滑に図られつつある。また、行政機関との連携も定着されつつある。 ●ブランドの形成・活用 ルート連携活動の一つとして地域資源の発掘調査(ヒャクノメグミプロジェクト)を取組中。またモデルコースの設定やエージェントへのPRを視野に、専門部会設立の準備中。 ●人材育成の取組・2009年度はルート連携活動のシーニックナイトにて、地域住民や教育機関等との連携を図った。また個別活動においても同様に地域住民の参画をきっかけに、交流・連携の拡大を目指す試みを継続中。	

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート	報告者:札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部	報告年月:2010/3/31

平成20年度活動報告への助言	平成21年度 状況報告	備考
・シーニックバイウェイ北海道の持続的推進やブランドの形成・活用に向け、引き続き、ルート活動の地域への浸透、人材育成の充実、ルート活動の基盤の強化に努められたい。	ルート活動の浸透に向け、行政連絡会議の場を活用した情報提供や情報共有の徹底を図るとともに、個別ヒアリングを実施し、自治体の広報誌等を活用した地域への周知を図るなど連携体制を構築している。また、ブランドの形成として京極町においては、羊蹄山のすそ野に広がる畑地帯がおりなす四季の農村景観と羊蹄山からの湧水を活用した地域づくりが評価され「日本で最も美しい村」連合に加盟するなど、新たな地域ブランドの形成を展開している。また、人材育成としては、各関係行政職員が地域活動団体の支援として、活動への参加や助成金情報の提供等による人的支援及び事務局補助的な役割を担っている。【ウェルカム北海道】・過年度に引き続き、行政連携による情報発信・人的支援の定着化が見られた。・ルート活動の基盤・支援体制の強化に向けて、持続的な活動持続のために有益となる情報(助成金等)の提供・共有を着実に図っていくことが必要。	京極町が「日本で最も美しい村」連合に加盟(平成21年10月)